

地下鉄七隈線（天神南～博多）沿線まちづくりガイドライン検討委員会

（第3回） 議事録

日時：平成24年8月9日（木） 15:00～16:00 場所：市役所15階講堂

出席者

坂井 猛（委員長）	九州大学新キャンパス計画推進室 教授・副室長
辰巳 浩（委員長代行）	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授
嶋山 一機	We Love 天神協議会 事務局長
有隅 基樹	博多まちづくり推進協議会 事務局長
竹ヶ原 政徳	川端中央商店街振興組合 理事長
原 公志	上川端商店街振興組合 顧問
川原 雅康	中洲町連合会 専務理事
楠下 広師	春吉校区自治協議会
山下 正士	博多校区自治協議会
花田 勇人（欠席）	住吉校区自治協議会
福山 誠	東住吉校区自治協議会
吉村 義美	堅粕校区自治協議会
細川 道夫（代理：田中）	福岡県 警察本部交通部交通規制課 課長補佐
小田 健治	福岡県 博多警察署交通第一課 課長
宮田 敏通	福岡県 中央警察署交通第一課 課長
清水 信彦	西日本鉄道株式会社自動車事業本部 副本部長兼計画部長
前川 聡幸	九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部 担当部長
小山 登	社団法人福岡市タクシー協会 常務理事
富山 英範	九州地方整備局 福岡国道事務所 所長
池永 昭夫（欠席）	福岡県 県土整備部河川課 課長
横枕 篤	福岡県 県土整備部企画交通課 課長
西田 直人（代理：龍）	福岡県 県土整備事務所 所長 所長
三角 正文	福岡市 住宅都市局都市づくり推進部 部長
大谷 雄一郎（代理：森）	福岡市 住宅都市局みどりのまち推進部 部長
山本 恭久（欠席）	福岡市 住宅都市局都市計画部 部長
野間口 毅（代理：後藤）	福岡市 道路下水道局管理部 部長
有吉 知美	福岡市 道路下水道局計画部
荒川 裕司（代理：宝満）	福岡市 博多区地域整備部（沿線区代表） 部長
木下 敬一	福岡市 交通局建設部 部長

【議事録】 質疑及び意見交換

事務局：第3回検討会資料の説明

委員長：今回はまちづくりの目標とテーマの2点について議論して頂きたいと思います。

委員：最近、中洲を歩く外国からの観光客が多くなっているが、4カ国語標記されたサインが少ない。国際都市としてのまちづくりを進める必要がある。
中洲地区では、国際化に向けて民間企業（ドンキホーテ）と共働で九州の観光に来て頂いて中洲に立ち寄ってもらうための取組みを始めている。（例えば、音声案内、タッチパネル、マップづくりなど）
サインについては、外国人に優しいもので整備をして頂きたい。

事務局：テーマのなかで来街者と書いていますが、そのなかにも外国人観光客も含めて考えています。
すでに地下鉄、地下街等では、案内板で4カ国語標記を行っています。サインについてどこまで整備していくかは今後の検討課題かと思えます。
頂いたご意見については、資料の委員意見の欄で「歴史や文化を活かしたまち」のなかの周辺観光施設への案内強化ということでもまとめているのですが、もう少し分かりやすい表現で追記したいと思います。

- 委員 長：他にご意見がないようでしたら、今回頂いたご意見を委員意見として追記するという形でまとめてよろしいでしょうか。
- 委員：異議なし。
- 委員 長：それでは、次の「ガイドライン（素案）」についての説明をお願いします。
- 事務局：ガイドライン（素案）については、8月27日から1ヶ月間で市民意見の募集を行う。市政だよりの8月15日号で告知の予定です。
市民意見募集の資料としては、第1～3回の検討会資料とガイドライン（素案）で考えており、全て市のHPで閲覧できるようにしたいと考えています。
多くの意見が集まるように委員の皆様からも声かけをお願いします。
集まった市民意見については、次回の検討委員会で報告させていただきます。
市民意見募集について、何かがご意見がありましたらお願いします。
- 委員：市民意見の資料としては今回の資料がそのまま出るということでよろしいですか。であれば、この資料（ガイドライン素案）を市民が見たときに1ページの取り組み例の2枚の写真がわかりにくく、写真のコメントでバスカットという意味すらも市民には理解できないので、そのあたりをもう少し分かりやすい配慮が必要かと思う。（西鉄バスも新しい車両の写真の方がいい）
- 事務局：ご指摘に通り写真とコメントをわかりやすく工夫したいと思います。
- 委員：今回これだけの委員の方が集まっているんなご意見がでていますが、素案を見たときに行政と民間が「何をやるのか」が見えない。
今回は、素案のバックデータとして検討委員会資料も配布することだが、せっかくたくさんの取り組みイメージに対する意見が出たので、短期、中期、長期などに分類して素案の中にまとめられないか？
ある程度目標をもってまちづくりを進めていく姿勢を示して欲しい。
各管理者は大変かと思うが、検討委員会で出た意見を真摯に受け止める姿勢を示すことも必要。
- 委員 長：取り組みイメージに対する意見もすぐに取りかかれるもの、すぐには無理だが中期・長期であれば取りかかれるものなどがあるので、ある程度分類してはどうかという意見ですがいかがですか。
- 事務局：第1回目からお話ししていますが、頂いた意見に対して「これはできる」「これはできない」という分類まではガイドライン策定時には難しいと考えています。
ただし、せっかく貴重な意見を頂いたので、議事録という形のみで残すのではなく、検討委員会資料という形でしっかり残すことにした。
今後はガイドラインを基に、その背景にはこのような意見があるというのを検討委員会資料で確認してもらいながら、各セッションごとに具体のまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。
このため、短期、中期、長期で、できる、できないを整理するのは難しいと思います。
- 委員：私が言いたいのは、絵に描いた餅にならないようにして頂きたいということです。
ガイドラインが今回作成しただけで終わらないよう、今後の進め方やガイドラインの運用の仕方などを事務局として示して頂ければいいと思います。
- 委員 長：大事なご指摘だったかと思います。ガイドラインができた後、どのように運用していくのが重要になってくる。
書かれていることが忘れられないための仕組みをどうつくっていくのかも重要な課題かと思っています。
- 委員：2ページの対象範囲（国体道路～はかた駅前通り）の横にはかた駅前通りの写真が掲載されているが、できれば国体道路の写真も掲載したほうがいい。（市民に対象範囲を理解してもらうには両方の写真があるほうがいい）
3ページのイラストですが、描きにくいかもしれませんが、自転車の姿がまったく描かれていない。（おしチャリなどでも入れた方がいい）

- 事務局：2ページについては、ご意見の通り写真の配置も含め修正したいと思います。
自転車については、歩道が狭いところもありますので、自転車を押した絵を描くのか、
走っている絵を描くのか、最終的に自転車のあり方が整理できればイラスト中に反映し
ていきたいと思います。もう少し検討期間を頂ければと思います。
- 委員：イラストがまだ書き換えられるのであれば、親子やベビーカーを押す人、高齢者（車い
す？）の絵をいれて、安全で安心なまちがイメージできるようにして頂きたい。
- 委員長：ユニバーサルでだれでも歩けるまちをイメージできるように修正して欲しいとのことで
した。
- 事務局：ご指摘の通りかと思っておりますので、イラストの表現を工夫させていただきます。
- 委員：最終的なガイドラインのイメージは、今回提示していただいたものと思っておりますが、意見
募集ということであれば、3ページのまとめ方だと、具体的な意見が出しにくい。
テーマと一緒に検討委員会資料の取り組みイメージに対する意見があると意見が出しや
すいので、その部分をキーワードとして整理して入れられないか。
- 委員長：3ページのところで、意見を頂くのであれば、つかみにくい内容になっているので、具
体的な意見をキーワード的（いくつか例示）に入れてみてはというご意見でしたが。
- 事務局：キーワード的にどれかを入れると「それが代表的なもの(実現レベル)」となり、その他(実
現が難しいもの)と区分されてしまう可能性があるため、入れるのであれば全部入れるこ
とになる。
できれば、意見募集を行うガイドライン素案と、検討委員会資料の委員意見の関連を分
かりやすくして、意見を募集するような形にしたい。
- 委員長：それではだいたい意見が出たということで、今回出た意見等を精査して市民意見の募集
を行っていただきたいと思っております。
事務局から他に連絡事項があればよろしく申し上げます。
- 事務局：本日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございました。
次回の検討会は、意見募集をとりまとめたのち、11月上旬を予定しています。
- 委員長：本日は、ご意見等ありがとうございました。
これをもちまして第3回検討委員会を終了いたします。